

情報通信審議会情報技術分科会 航空無線通信委員会  
航空監視システム作業班第2回会合 議事要旨（案）

1 日時 平成19年6月14日(木) 15:00~16:52

2 場所 総務省 低層棟1階 総務省第1会議室

3 出席者

(1) 構成員(敬称略)

石出 明(主任:電子航法研究所)、南 正輝(主任代理:芝浦工業大学)、  
安達 靖人(代理:西嶋 邦彦)((株)JALインフォテック)、  
伊地知 章(国土交通省)、伊藤 達郎(全日本空輸(株))、  
伊野 正美((株)東芝)、大串 盛尚(アビコム・ジャパン(株))、  
小瀬木 滋((独)電子航法研究所)、近藤 天平(日本電気(株))、  
志田 命彦((株)NTTデータ)、鷹觜 清一((株)テレキュート)、  
津幡 岳弘(防衛省)、畑 清之(三菱電機(株))、  
平田 俊清(RAエンジニアリングハウス)、  
平山 武俊(代理:島村 定夫)(日本貨物航空(株))

(2) 事務局

衛星移動通信課 中沢企画官、梶原課長補佐、馬場航空係長

4 議事概要

石出主任から開会の挨拶、事務局から配付資料の確認を行った後、石出主任により議事が進められた。

(1) 前回議事要旨の確認について

・事務局より資料10-S作2-1に基づき、航空監視システム作業班(第1回)、航空無線電話・航法システム作業班(第1回)合同会合の議事要旨について説明が行われた。

(2) SSRモードS関連

・資料10-S作2-2に基づき、伊地知構成員よりシステム概要及び運用状況について説明が行われた。

・資料10-S作2-3に基づき、事務局より現行の技術基準について説明が行われた。

・資料10-S作2-4に基づき、小瀬木構成員より最新の国際標準について説明が行われた。

以上の説明に対して、平田構成員より、本作業班において検討する技術的基準と整合を図るべき国際技術動向についての質問があり、当該質疑に対し小瀬木構成員より本作業班において検討する技術的基準については、ICAO State Letter AMENDMENT-73、77及び82と整合を図ることが適当である旨回答。

(3) ADS-B関連

・資料10-S作2-5に基づき、小瀬木構成員よりSSRモードSによるADS-Bの技術概要について説明が行われた。

・資料10-S作2-6に基づき、小瀬木構成員より①UATによるADS-B及び②VDLによるADS-Bについて説明が行われた。

(4) 機上無線設備の概要について

- ・資料 10-S 作 2-7 に基づき、伊藤構成員より機上無線設備の概要について説明が行われた。

(5) ICAO ACP会合の概要について

- ・資料 10-S 作 2-8 に基づき、梶原課長補佐より ICAO ACP会合の概要について説明が行われた。

(6) 今後の検討の進め方について

- ・事務局より資料 10-S 作 2-9 に基づき航空監視システム作業班の今後の検討について説明が行われた。

[配付資料]

【資料番号】	【表題】	【提出元】
資料10-S作2-1	情報通信審議会情報通信技術分科会航空無線通信委員会 航空監視システム作業班(第1回)、航空無線電話・航法シ ステム作業班(第1回)合同会合議事要旨(案)	事務局
資料10-S作2-2	SSRモードSのシステム概要及び運用状況	国土交通省航空局
資料10-S作2-3	「SSRモードS等の無線設備に関する技術的条件」 (昭和63年7月電気通信技術審議会一部答申)抜粋	事務局
資料10-S作2-4	SSRモードSに関する国際標準	独立行政法人 電子航法研究所
資料10-S作2-5	SSRモードSによるADS-Bの技術概要	独立行政法人 電子航法研究所
資料10-S作2-6	SSRモードS以外によるADS-Bの動向	
	①UATによるADS-B	独立行政法人 宇宙航空研究開発機構
	②VDLによるADS-B	独立行政法人 電子航法研究所
資料10-S作2-7	機上無線設備の概要	全日本空輸株式会社
資料10-S作2-8	ICAO ACP/1PANEL 報告	国土交通省航空局
資料10-S作2-9	今後の検討の進め方(案)	事務局